



きくがわ 社協だより

No.122

2015年

4月発行

ホームページ <http://www.kiku-syakyou.or.jp/>

菊川市社協

検索

社協(社会福祉協議会)は、みなさんと共に
「安心していきいき暮らせるまち」を考え、推進する民間団体です。

生活困窮者自立支援制度が 始まりました



平成27年2月7日(土) 生活困窮者自立支援制度市民セミナー

平成27年4月1日より生活困窮者自立支援制度が始まりました。

これは、生活保護には至っておらず、困りごとを抱えている生活困窮者に対する支援を行うための制度です。

生活上の困りごとについて、ご相談ください。

社会福祉法人 菊川市社会福祉協議会

〒439-0019 静岡県菊川市半済1865(プラザけやき内)

☎(0537)35-3724 Fax(0537)35-3202

Eメール info@kiku-syakyou.or.jp



生活上で不安なこと、相談してみませんか？

生活困窮者 自立支援制度って？

生活困窮者自立支援制度は、仕事や生活に困っている方などの相談を受け、自立した生活を送ることができるように支援するための制度です。

支援員を始め、他の専門機関と連携しながら解決に向けた支援を行います。

1 相談

【相談から支援までの流れ】



2 生活状況の確認

生活上の困りごと、不安なことについてお話し下さい。
現在の生活状況の確認や抱えている問題を整理します。

3 支援プランの作成

自立に向けた目標や支援内容について、一緒に考えて作成します。



4 支援決定・サービス提供

支援プランは、関係者の話し合い（支援調整会議）により正式に決定し、プランに基づいてサービス提供等を行います。

5 モニタリング

相談者の状態や支援の状況を定期的に確認します。支援プランの再検討を行うこともあります。



6 安定した生活へ

困りごとが解決されると支援は終了しますが、安定した生活を維持できるように、一定期間、支援員によるフォローアップをしていきます。

ご相談ください

菊川市社会福祉協議会が菊川市からの委託により、自立相談支援事業を行っています。

本人、ご家族等ぜひご相談ください。

【生活困窮者自立支援相談窓口】

菊川市社会福祉協議会

電話…35-3724

FAX…35-3202

住所…菊川市半済1865

(プラザけやき内)



【市民セミナーを開催しました】

平成27年2月7日(土)にプラザけやきにおいて市民セミナーを開催しました。静岡県立大学の津富宏氏を講師に迎え、「生活困窮者自立支援法の理解と生活困窮者の実態」をテーマに、講義をしていただきました。

このセミナーの目的は、生活困窮者自立支援法について理解し、生活困窮者の実態を知ること、これから市民として私たちに何ができるのか、共に考えていくことです。

民生児童委員をはじめ、心配ごと相談員等58名の方にご参加いただきました。

参加者からは「支援者、支援する機関が単独で動くのではなく、つながり、チームとなって支援していくことが大事。それぞれが、どこで、何をしたら、どんな方法で動けばよいのか分からないと支援につながっていかないのではないかと思う。」「私達や家族の人達は支援しようと思っても、本人さんがそれほど考えていないように思われる。私自身もどう動いて良いのか分からない。」「対象の方との信頼関係を築くことが大きな課題だと思う。」「などのご意見をいただきました。

【関係機関向けの学習会を開催しました】

平成27年2月19日(木)にプラザけやきにおいて、関係機関向けの学習会を開催しました。津富氏に学習会でも講師をしてい

ただき、「なぜ、生活困窮者自立支援が求められるようになったのか?」「早期把握や見守りのための地域ネットワーク、支え合う地域を構築できるのか?」等、各グループで

制度ができた背景から、実際にどのように取り組んでいくか考える機会となりました。生活困窮者自立支援は、今後も社会福祉協議会だけではなく、行政や市内社会福祉法人等とも連携をとりながら進めていきます。

【みんなで支え合える地域に】

生活困窮は、誰もが成り得る可能性のあるものです。

しかし、誰にも相談できず、地域で孤立してしまう場合もあります。

早期発見し、本人が自尊、心を持って生活できるためには地域とのつながり、支え合いも求められていきます。



顔が見える地域での活動が、私の元気の源です

Q. 現在の活動について教えてください。

現在、病院ボランティア星、点訳サークル泉、布ぞうりを作ってボランティアに所属しています。

退職後、様々な講座に参加して何か続けられるものはないかと色々考えながら過ごし、今も続けているのはこの3つです。

病院ボランティア星は、社協だよりでの募集記事を見て参加しました。始めた頃は、問診票の代筆が主でした。外国の方々が見えた時は、身ぶり手ぶりで会話をすることも経験しました。現在は、通訳の方が見えたり、問診票も外国語用のものが用意され、スムーズになりました。

問診票の代筆のほか、受付機の扱いの補助、車いすの誘導、院内の案内、乳幼児の見守りなど、ボランティアでできることはやっていきたいです。

患者さんは、不安も抱えている場合もあると思います。そんな時、声をかけやすい笑顔でいることが大切だと思っています。

点訳ボランティアは、知人からの誘いでやってみようと思いました。旧菊川町時代に、社会福祉協議会で開催した点訳講座を受講しました。その後、県立点字図書館でも講座があることを知り、参加しました。受講者は、点字図書館での活動をするようになっていましたので、5年間ぐらい菊川市での活動と並行して、点字図書館でも活動しました。その間に、点字打ちのパソコン講座を点字図書館で受けることができました。

元々、声が聞こえ、顔が見える地域での活動を希望していたので、市内での点訳活動のみへ移行させてもらいました。

点訳サークル泉では、視覚障がい者の総会の資料の点訳から始まり、現在は本も点訳するようになりました。今では点訳本もたくさんあり、菊川市だけではなく、市外の方にも貸出をしています。

「布ぞうりを作ってボランティア」は数年前に立ち上がったばかりです。作った布ぞうりは、社会福祉施設などに渡しています。

Q. 活動して楽しいことや印象に残っていることがあったら教えてください。

視覚障がいの方から、「駅まで車に乗せてってもらおうから、途中の道に何があるか知らないから知りたい」という方がいらっしゃいました。川は砂を張り付けて、広い道路はテープ、狭い道路は毛糸など、触ってわかる地図を作りました。「これは飾っておかないといけない、一生の宝だ」と大変喜ばれました。そのように、喜ぶ顔を見てこちらも元気をもらっています。

また、年賀状を点字で送ったこともありました。渡した方から、「私は、自分で年賀状を読むことが出来なかった。点字で年賀状を作ってくれたから自分で読むことが出来た」と電話をいただきました。この話を聞いて、衝撃的でした。きっと今までは、家族に読んでもらっていたのだろうと思いました。

Q. これからの目標や、やってみたいことがあったら教えてください。

点訳サークルに関しては、菊川市の中にこういうグループは数少ないです。ここが絶えてしまったら、どうになってしまうのだろうかと心配に思います。力を合わせてサークルを続けていけるのが一番だと思っています。



杉山ときえさん（奥横地）



点訳サークルの様子

特別養護老人ホーム 松秀園

特別養護老人ホームって？

基本的に要介護3～要介護5^{*}の認定を受けた65歳以上の方を対象に、身体上または精神上著しい障害により、常に介護が必要な状態で、在宅で適切な介護を受けることが困難な方が入居される施設です。

料金は、介護サービス費+生活費（居住費、食費、その他費用(受診料、薬代、日常生活用品代等)）が毎月の自己負担となります。

介護サービス費は介護度によって異なります。

※2015年4月に介護保険の制度が改正されています。



みなみ保育園とお餅つき

松秀園はどんなところ？



敬老会

菊川市の最南、旧小笠町の高橋地区にあり、周囲を緑に囲まれた平屋建て、全室個室の建物に40名の方が生活をされています。

平成18年8月に開設し、今年で9年目を迎えます。

入居者は地元の方が多く、ご家族の方も頻繁に施設に面会に来て下さいます。近くのみなみ保育園さん、南陵高校さんとは日頃から交流があり、施設の中では毎日のように子供達の笑顔と歓声が聞こえ、入居者さん達に元気を与えてくれています。

菊川市人権擁護委員会、高橋地区老人会、民生児童委員の方々には菜の花やひまわり、草刈りなどの緑化活動を、高橋口地区、地元消防団の方には災害時の非常救護班として、地元地域の方々に支えられ成り立っている施設です。

ひとこと

和松会のホームページがあり、その中で、施設の日常をブログで紹介しております。良かったらみて下さい。

施設見学、入居希望の方はいつでも受付けておりますので、電話にてお問い合わせ下さい。

また、施設内に地域交流ホームが併設されております。災害時は300人程避難できる、菊川市の地域福祉避難所となっておりますが、普段は地域の会議や、みなみ保育園さんなどに無料で解放しております。利用希望のある方は問い合わせをお願いします。



夫婦でお花見

【問い合わせ先】（住所）〒437-1505 菊川市高橋2774-1 （電話）0537-63-1100

【ホームページアドレス】<http://washoukai.or.jp/>

広報モニター会議を開催しました



2月17日（火）にプラザけやきにおいて、広報モニター会議を開催し、広報紙についてのご意見や感想等を伺いました。

広報モニターは、社会福祉協議会が発行する広報紙（社協だより）に対する意見、提案や評価等を聴き、広報紙に反映させることにより、広報活動の充実を図ることを目的として行っています。

今後も、広報モニターの方々にご協力いただき、より充実した広報紙としていきたいと思えます。

「高齢者の健康について」の講演会を開催しました

2月26日（木）に中央公民館 多目的ホールにおいて、石崎耳鼻咽喉科 院長 石崎久義氏を講師に迎え、「高齢者のための聴力の改善について」の講演会を菊川市老人クラブ連合会女性部主催により開催しました。

最近、「音が聞きにくくなった」といった聴力の低下や、「会話の中で相手の言葉が聞き取りにくく、聞き返すことが多くなった」などの、言葉の聞き取りの悪さ、めまいなどの不快な症状、改善について学びました。

菊川市老人クラブ連合会では、今後も、いつまでも元気で自分らしく過ごすための健康講座を開催していきたいとのことでした。



「市民社会福祉大学」を開催しました



3月15日（日）プラザけやきにおいて「地域における権利擁護の推進にむけて」と題し、認知症をテーマに開催しました。はじめに菊川市長寿介護課からは、菊川市における認知症予防対策についての報告がありました。その後、～あなたは認知症予防していますか～「認知症になった波平」の講演を日本福祉大学中央福祉専門学校の渡辺哲雄氏にお願いしました。講演はご自身の母親との言葉のやりとりを交えたり、またテレビ漫画の“サザエさん”の波平さんが認知症になったらどうなるか例を挙げながら、とてもわかりやすくポイントをおさえた、楽しい笑い声の多い講演でした。参加者の皆さんからはとても好評でした。

ボランティアの広場

ボランティアの輪・和・話(三つの“わ”)

「布ぞうり作ってボランティア」

「布ぞうり作ってボランティア」は、平成23年4月に発足したグループで、手作りの布ぞうりを、福祉施設のイベント時にバザー品として提供する活動をしています。第3水曜日9:30～11:30にプラザけやきで、おしゃべりをしながら、上手な作り方を教え合いながら、和気あいあいと楽しく作っています。平成27年度は、5月からスタートします。

ご興味のある方は、ぜひご連絡ください。すてきな布ぞうりを皆で作しましょう。布ぞうりを作る道具は、ご自身でご用意していただくことになりますので、ご相談ください。よろしくお願いいたします。

問合せ先 ボランティアセンター ☎35-6385



ボランティアグループからのお知らせ「折り紙ランド」

「折り紙教室入門クラス」参加者募集

平成27年度も、毎月折り紙教室を開催します。スタッフが教えますので、安心してご参加ください。今年度はカレンダーを作り、日本昔話を折ります。

期 日	内 容	期 日	内 容
5月9日(土)	桃太郎	11月14日(土)	笠地蔵
6月13日(土)	七夕	12月12日(土)	十二支の起こり
7月11日(土)	浦島太郎	2016年1月9日(土)	鶴の恩返し
9月12日(土)	サルカニ	2月13日(土)	一寸法師
10月10日(土)	かちかち山	3月12日(土)	花咲じじい

時 間 10:00～12:00

持 ち 物

場 所 菊川市町部地区センター

材料費 (小学生100円 大人200円)

対 象 小学生1年生以上

赤・黒・青のマーカー、はさみ

申込締切 各教室日の1週間前

そ の 他 全教室でも、好きな月だけでも参加申し込みできます。

見本が、町部地区センターに展示してあります。

問合せ・申込先 折り紙ランド(永井) ☎36-2328 (平日19:00～21:00のみ)



ボランティアセンターからのお知らせ ☎35-6385

「切手付き使用済み封筒をご提供ください」

毎月第2(火)に、切手収集ボランティアの皆さんが、古切手を封筒から切り取る作業をされています。切り取った古切手は、発展途上国への援助活動や団体の活動資金などに活用されます。

ご家庭や企業などに届いた封筒をぜひご提供ください。

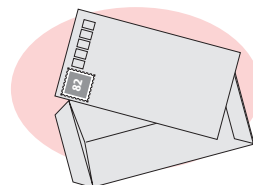
「広告紙の入れ物をご活用ください」

ボランティアの皆さんが、広告紙の入れ物をこつこつと自宅で作ри、ボランティアセンターに届けてくださっています。

物を仕分けたり、ゴミ箱にしたりと大変重宝する入れ物です。

福祉施設や地域の行事などで使っていただけると嬉しいです。

ご活用いただける方は、ボランティアセンターまでご連絡ください。



参加者募集 各種事業

ふれあい健康づくりレクリエーション講座を開催します

各々の地域で活用されている、レクリエーションの取り組みは、地域の居場所となり、人との輪をつないでいきます。

レクリエーションに参加することにより、認知症の予防ができ身体の機能維持にもつながり、対人交流も活性化することができるでしょう。このような大切な時間を楽しく有意義なものにしたいと思ったことはありませんか？

この講座では、すぐに実践できるレクリエーションはもちろん、進め方や言葉かけ、対象者とのかかわり方、当事者の気持ちに寄り添った支援等について学びます。

さあ、まずは、講座に参加して、心と体をリフレッシュし、笑い声あふれる楽しい時間を共有しましょう！

回	開催日	内 容
1	5月 30日（土）	13：30～15：30 （受付 13：00～） 菊川市総合保健福祉センター プラザけやき 201会議室
2	6月 27日（土）	
3	7月 30日（木）	
4	8月 27日（木）	

- 持 ち 物** 飲み物、タオル（運動ができる服装）
- 定 員** 30名程（先着順） 参加に関しては、一日参加も可能です。
- 申 込 方 法** 5月15日（金）までにお電話又は窓口にてお申込みください。
ただし、定員になり次第締め切ります。
- 申込・問合せ先** 菊川市社会福祉協議会 ☎ 35-3724

「ふれあい広場」参加団体募集

「ふれあい広場」は誰もが地域の中で安心していきいき暮らせるまちづくりのきっかけとなるよう、市内の福祉団体やボランティア団体が実行委員となり、体験、展示、販売等を通じて市民のみなさまのふれあいや交流の場とすることを目的に開催します。

参加団体を募集しますので、ぜひご参加ください。

- 日 時** 平成27年10月24日（土） 9：30～15：00（予定）
- 会 場** 菊川市民総合体育館（予定）
- 主 催** 菊川市ふれあい広場実行委員会・菊川市社会福祉協議会
- 参 加 対 象** 市内在住の方々による団体やグループ
※数回開催予定の実行委員会に出席をお願いします。
- 参 加 内 容** 展示・体験教室・手作り品販売・ステージ発表など
※ふれあい広場の目的に相応しない場合は、お断りすることもありますのでご了承ください。
- 申 込 締 切** 5月15日（金）
- 申込先・問合せ** 菊川市社会福祉協議会 ☎ 35-3724



撮影：デジカメボランティア
「おっ撮りカメラ隊」

相談窓口

福祉総合相談

日時 月～金曜日 8：15～17：00

心配ごと相談

日時 5月 1日（金） 9：00～12：00

5月15日（金） 13：00～16：00

会場 プラザけやき

日時 5月 7日（木） 13：00～16：00

5月20日（水） 9：00～12：00

会場 菊川市役所 小笠支所

結婚相談

日時 5月 1日（金） 18：00～21：00

（受付 20：00まで）

5月17日（日） 9：00～12：00

（受付 11：00まで）

会場 プラザけやき

※初めての方は写真と印鑑をご持参ください。

※奇数月の第1金曜日は女性専用の相談日となります。

ひきこもり、不登校無料相談会

日時 5月11日（月）・18日（月） 13：00～16：00

会場 菊川児童館（プラザけやき 2階）

予約電話 090-1476-3233